

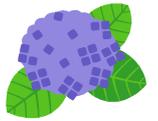


志楽小学校だより

舞鶴市立志楽小学校
令和2年度学校だより
第3号
令和2年5月29日発行



一步一步



木々の緑が一層濃くなり、日中は汗ばむような季節となってきました。

緊急事態宣言が解除になり、子どもたちの元気な声が教室や運動場から聞こえるようになりました。これまで当たり前だった風景が見られることに感謝しています。

前例のない、考えもしなかった臨時休校の日々が1か月も続きました。3月も休校でしたから、約2か月もの間、保護者の皆様には本当にお世話になりました。不要不急の外出の自粛、様々な業種の休業要請でご家族の暮らしにも影響があったことでしょうか。また、元気な子どもたちが一日中、家の中で過ごすことは、子どもたちだけでなく、周りの大人も少なからず、ストレスとなっていたのではないのでしょうか。

しかしながら、ご家族の皆さんのご理解とご支援のおかげで、子どもたちは元気に学校に戻ってきました。本当にありがとうございました。

5月7日の登校日にアサガオの種を植えた1年生は、毎日水やりにいそしみ、双葉が次々に出てくるのを友達と見合っています。今日は、「先生、ほら、違う葉っぱが出てきてる。」と本葉が出てきたのを見つけ、報告してくれました。



2年生は先日植えたミニトマト、3年生はツルレイシ(ゴーヤ)、4年生はホウセンカ、オクラ・・・と各学年の子どもたちが毎日、水やりをし、観察を続けています。日々、お互いに気付いたことを話しながら、植物を育てています。少し、時期が遅くなってしまったものもありますが、子どもたちの熱心な世話に、きっと植物も応えてくれることでしょうか。

運動場では、体育の授業で、かけっこや50メートル走、ハードル走など、子どもたちが元気に走る姿が見られます。汗をかきながらも、広い場所で思いきり体を動かすことの気持ちよさを味わっているようです。こうした一つ一つの活動を、子どもたちも教師も心待ちにしていたことがどの教室からもうかがえます。教室を回っていると、楽しそうな表情があちらでもこちらでも見られます。

5月20日から段階を踏んで、学校の活動を再開してきましたが、6月からはいよいよ平常授業にもどります。「ウイズコロナ」と言われます。感染が再び広がることの無いよう、マスクの着用、手洗いの徹底、お互いの距離を取ることに、「3密」を避けること等、できる限りの予防策を子どもたちとともに取りながら、一步一步充実した教育活動を進めていきます。



これからの季節、気温が上がる日も増えてきます。毎日マスクを着けていることもあり、これまで以上に熱中症にも気を付けていく必要があります。ハンカチ、タオルの携帯、水筒の準備等、今後ご支援・ご協力いただきますよう、どうぞよろしくをお願いします。

校長 小森 昌子
教職員 一同

あいさつの声はバロメータ？！

「おはようございます。」毎朝、子どもたちとあいさつをかわします。気持ちのいいくらい大きな声、ちょっぴり恥ずかしげな声、声を聞いたり表情を見たりして、子どもたちの様子をうかがいます。ある1年生の男の子、先日まで小さな声だったのが、ある日大きな声になりました。「まあ、素敵なあいさつ。」と思わず言うと、にっこり。何かよいことがあるのでしょうか。この2週間、少しずつ素敵な声が増えてきました。「今日も学校に来てよかった。明日も来よう。」と思えることが増え、あいさつの声も増えていくことを願っています。



